

進捗管理手法 EVM の紹介

2005 年 11 月, (株)レンタコーチ

EVM: Earned Value Management の概要

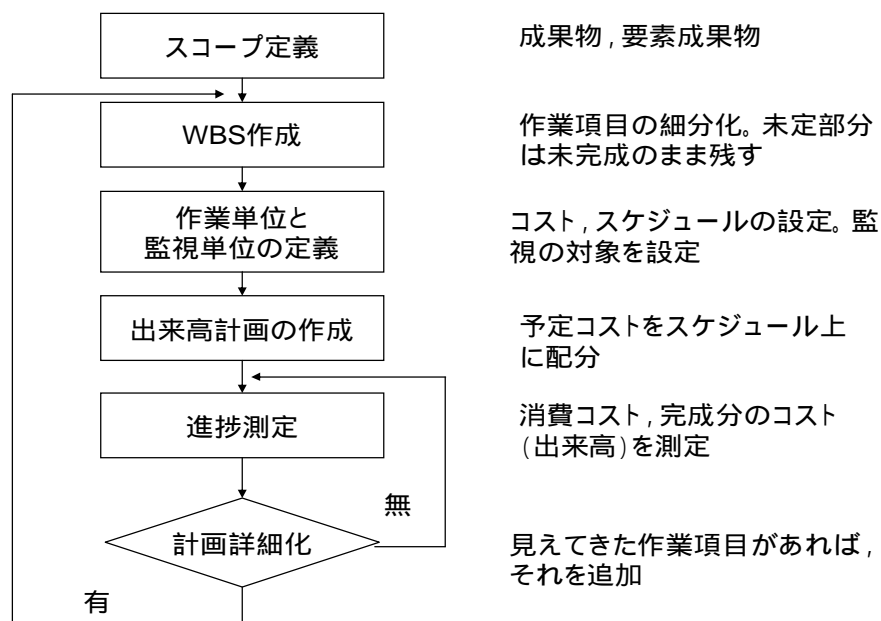
EVM とは, プロジェクト作業を細かく分割し, それぞれに定義した予定コストにもとづいて, プロジェクトのスケジュールの遅れとコストの超過を可視化する進捗管理手法です。もともと 60 年代に NASA や DoD で採用された手法ですが, 2002 年度に経済産業省が活用ガイドラインを作成し, 国内でも注目を集めてきています。

進捗管理に EVM を活用する利点

- すべての作業項目の進捗が同じ尺度で表され, 全体の進捗をつかみやすい
- 進捗をコストで表すから, コスト実績を把握できる
- 計画と実績との差から効率指数が得られ, 完了までの見通しを立てやすい

逐次完成型 EVM を活用した進捗管理の手順

実践しやすいように, 当社考案の逐次完成型 EVM では次の手順で進捗管理を進めます:



進捗分析に用いる EVM の代表的な指標

- コスト効率指数 完成分に貢献している消費コストの割合
- スケジュール効率指数 計画に対する完成分の割合
- 残コスト予測値 予定コストの残り / 両効率指数の積

参考図表:

出来高分析表

| | PV | AC | EV | CV | SV | CPI | SPI | BAC |
|----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 監視単位 1 | | | | | | | | |
| 監視単位 2 | | | | | | | | |
| 残作業 | | | | | | | | |
| プロジェクト全体 | | | | | | | | |

この表で監視単位の進捗を分析します。
 ただし、PV:出来高計画値、AC:実績コスト、EV:出来高、
 CV:コスト差異、SV:スケジュール差異、BAC:総コスト計画値、
 CPI:コスト効率指数、SPI:スケジュール効率指数

出来高推移図

